



宇田みおこ

令和3年6月佐倉市議会一般質問より上別所のごみの山 議会内会派:ひまわり会と市民オンブズマン



上別所のごみの山 テレビ等で取り上げられました!!

- ◆ めざまし8 フジテレビ (2回)
- ◆ ゴゴスマ TBS
- ◆ バイキング more フジテレビ
- ◆ スーパーJチャンネル テレビ朝日
- ◆ 千葉日報オンライン

★噂の東京マガジン BS-TBS(9月中旬放映予定)★



草木に覆われ始めた上別所のごみの山 新たな行徳富士の始まりか

道路沿いに高さ約4m、長さ約80m、総重量約11,300m³のごみの壁



昨年6月中旬から有価物と称する大量の廃プラ等が運びこまれた。土地管理者は今年6月廃棄物処理法違反で逮捕、同7月保釈

*行徳富士…市川市の「産廃と残土の山」。1980年代から現在まで放置されたままである。行徳で標高値が一番高く(約37m)、皮肉をこめこう呼ばれている。草木が生い茂り自然に出来た山のように見える。現在は国有地。写真右:黄色円内は、自然の山ではない。木々に覆われた残土の山である。

佐倉市の姿勢 県の対応を見る・待つ

★宇田みおこHP、定例会一般質問にて公開中!!

現場は佐倉市である。

これまで令和2年11月議会、令和3年2月議会、令和3年6月議会と3回の一般質問を行った。力不足を悔やむばかりだ。今も周辺住民は、異臭、地下水・土壌汚染、火災。大風の際の飛来物等の2次災害に怯えながら生活している。

産廃の不法投棄は、早期の段階で搬入を阻止できるかが肝心

周辺住民から相談を受けた時点で、土地所有者が堆積した廃棄物等が周辺市民に不快感、不安感等を与えているとし、市当局に迷惑防止条例を活用し、具体的な解決策を提案したり、必要であれば同条例の改正をして、条例違反で土地所有者等を訴えることを求めてきた。搬入防止バリケード・防犯カメラ等の早期の設置等の対応も出来たはずだ。

今の佐倉市のみでは、再び外部から産廃が持ち込まれてしまう。あなたはご存知ですか。



千葉県「ごみを堆積させた行為者及び産廃の排出元が撤去すべき」

県は現在、排出元特定の調査を進めている。廃棄物に有毒物質が含まれているなどの場合には、迅速な対応も検討するとしている。ごみを違法に堆積させた行為者等が撤去をすることは当然だが、行政指導を繰り返し、行為者逮捕に至った場合でも、現状では半永久的にごみの山は放置されたままだ。

産廃・残土の違法行為者に対する法制度の強化・厳罰化、法整備を強く国に求める。

県に一刻も早い行政代執行を求めるが…

行政代執行の問題点（全量撤去ではない）

- ①多額の税金の投入。
- ②遣り得と考える違法行為者を助長させる。
- ③代執行決定までの調査等、多大な時間を要する。
- ④周辺住民の生活環境に有害と特定された一部の産廃のみの撤去でしかない。

市は市民に現状説明し 不安の解消を

- ①県との積極的協力・強力な連携体制の構築
- ②市民と問題を共有するための、説明会の開催
- ③便乗ごみ防止のための草刈り等、環境整備
- ④産廃の山の中に含まれる一廃の処理方法・再発防止対策のための外部専門家を含めた専門チームの設置
- ⑤廃棄物対策課へ警察関係者の人材登用等、求める。

噂の東京マガジン レポーター 山口良一さんと



ここまでひどい現場は初めてと驚かされていました。テレビ放映をきっかけに、上別所のごみの山を始め、同様の問題解決に繋がることを願っています。ご理解・ご協力をお願いします(*^^*) 宇田みおこ

佐倉市2050年ゼロカーボンシティ宣言

令和3年8月18日、佐倉市は2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ宣言」!!

以下6月定例会での「宇田みおこ」一般質問から一部抜粋

令和3年6月1日現在、千葉県では、千葉県と山武市など11市が表明している。佐倉市では準備中・宣言日未定とのこと。カーボンニュートラル実現は、地元企業や住民が地球温暖化への意識を高める努力を行い、その行動を地域の実情に即した脱炭素型に変えていくことが必要。省エネに取り組み事例としては、千葉県では2019年の台風15号による大規模停電をきっかけに、公民館、市立学校等の避難所への太陽光発電設備導入等を挙げている。先進市の事例を研究し、ただ宣言をするのではなく、実行可能な計画策定を求める。

妊婦さん コロナワクチン優先接種対象者に

8月18日、佐倉市は、妊娠中の方及びその配偶者またはパートナーを、市独自のワクチン優先接種対象者に追加。

8月19日、妊娠中コロナ感染し自宅療養中の方が、入院先が見つからず、医師ら不在で自宅で出産（妊娠29週、早産）。新生児が亡くなったとの報道がありました。心よりご冥福お祈りいたします。



すべての通園・通学路の安全対策を

6月28日、八街市トラック運転手の飲酒運転による痛ましい事故が起きました。児童2人がお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈りいたします。飲酒運転の問題とともに、今回の事故で課題となっているのが「危険な通学路」の問題です。

市内の危険な通学路を教えてください。

市民の方からご連絡頂いた、間野台小学校の通学路。市設置のカーブミラーは、老朽化で機能を果たしていない。車の通行量も多く、見通しも悪い通学路。子どもたちすれすれをスピードを出した車が通る。担当課に改善を求めた。



令和2年6月以前の現地

地目は山林だが、畑として使用されていた。左:航空写真



令和2年6月以降の現地

航空写真 Google Map 引用 土地を埋め尽くす無数の廃棄物

